

【1 えびの市 Ebino City】



霧島連山の韓国岳から

えびの市では、南部にそびえる霧島連山（韓国岳や白鳥山など）から、不動池などの火口湖越しに“南東面の雲仙岳”が眺望できます。これらの山々からは、阿蘇山も眺望できるため、阿蘇山と雲仙岳の間の歴史的な大三角形（※阿蘇地域のページ参照）を視覚的にイメージできます。

霧島連山と雲仙岳は、昭和9年3月に国立公園第1号として同時に指定され、平成26年には80周年を迎えています。火山としての地形・地質は異なりますが、春はピンクのミヤマキリシマ、夏は青い草原、秋は錦の紅葉、冬は白い霧氷と、九州ならではの四季の彩りを共有しています。現在、両山はジオパークに認定され、火山の多様な楽しみ方ができるようになっています。明治から昭和の年代にかけて、両山は与謝野鉄幹・晶子夫妻や種田山頭火、吉井勇といった文人に愛され、随所に歌碑が建てられています。

また、九州各県をネックレスのようにつないで一周するトレイル“九州自然歩道”が近隣の高原町内や霧島市内（鹿児島県）を通過しており、霧島連山から遙か雲仙岳までトレイルは続いています。韓国岳登山の際に、九州自然歩道が通る高千穂峰まで足をのばして雲仙岳が眺望できれば、九州島のスケールを体感しながらトレイルを楽しめることでしょう。

雲仙岳の様々な表情を探しながら、えびの市内を旅してみませんか？

- えびの市の観光情報はこちら ⇒ えびの市観光協会 <http://ebino-kankou.com/>
霧島ジオパーク <http://www.mct.ne.jp/users/kiri-geopark/>